

令和5年度第1回球磨川水系学識者懇談会
議事録（概要）

日 時：令和5年10月4日（水）10：00～12：20

場 所：熊本城ホール 3階会議室（A）

出席者：委員 小松委員長、井田委員、大槻委員、大本委員、鬼倉委員、
上久保委員、久保田委員、小林委員、竹内委員、田中委員（欠）、
星野委員、南本委員

国 宗八代河川国道事務所長、向田八代河川国道事務所流域治水課長
齋藤川辺川ダム砂防事務所長

県 仲田河川課長、竹本河川課課長補佐、菰田土木技術審議監

司会 中島八代河川国道事務所副所長

【要旨】

1. 環境整備事業の再評価

球磨川水系環境整備事業再評価について、異議なしということで、対応方針（原案）
のとおり「事業継続」することを了承する。

- 自治体等と連携し、復旧・復興を加速させ、SDGs を絡めた取り組みを行い、住民との
連携を行うことが必要である。
- 河川の生態系を保全し、生物環境の改善を図りながら長期間機能し自然と調和した河
川構造物を整備すること。
- 環境整備により絶滅種が復活したことは画期的なことである。また、もっと利用者と
川を結ぶ利活用、歴史を学ぶ場など、上手く活用していただきたい。
- 環境や利水などの観点から上下流の交流連携の取り組みも重要である。

2. 事業の報告

- モニタリング項目を整理し、継続的にモニタリングを行い、データを蓄積すること。
- 流域治水における環境面に対する記載について強化が必要である。